

指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和5年度分】

施設概要	名 称	宮司コミュニティセンター
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	設置条例	福津市コミュニティセンター条例
指定管理者	名 称	宮司地区郷づくり推進協議会
	代表者	会長 坂根 康廣
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	指定期間	平成4年4月1日～令和9年3月31日
所 管	部課名	福津市 市民共働部 地域コミュニティ課 郷づくり支援係
	評価期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

Ⅰ 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)	
令和5年度は新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、その対策(検温・消毒・マスクの励行等)は利用者に協力を呼びかけながら、安全確保を最優先に実施されている。また、利用制限は年度当初から解除されたことなどの理由により、利用者数が徐々にコロナ前に戻りつつある(増加傾向)。また、維持管理費の経費節減にも積極的に取り組まれているが、人件費・諸物価等の高騰により単年度収支は初の赤字となっている。	
Ⅱ 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)	
各項目とも規定や基準通り、適切に業務が履行されている。 自主事業については、地域との連携を最優先に実施されている点は評価できる。	
Ⅲ 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)	
施設の内外とも、適切な維持管理が確保できている。	
Ⅳ サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)	
利用者の声を聴くアンケート調査の継続実施、その結果の意見や要望から課題改善点を抽出し、満足度を向上させる取り組みなど、今後の事業展開に期待が持てる。	

◎モニタリング全般の総合評価コメント

◆ 総合評価コメント	
令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、利用者数・利用料金共に増加傾向にあるものの、近年の人件費や光熱水費をはじめとする物件費の高騰等の理由により、利用の伸び以上に必要経費の負担増が大きく、単年度収支では初の赤字を出すなど、厳しい財政事情となっている。 しかしながら、利用者の安全性の確保はもちろん、地域と連携した施設運営や事業展開が常に図られている点については、自治会を基軸とした郷づくり推進協議会に指定管理業務を委任している最大のメリットと考えられる。	
◆ 今後の業務改善への考え方	
令和5年度で、ほぼ従来の開館及び管理運営体制へ戻れたところであるが、今後も利用者や職員の感染防止対策には細心の注意を行いながら、地域活性化及び地域住民の交流の場として、持続可能な管理運営を目指してもらいたい。	

指定管理者モニタリングチェックシート

【令和5年度】

施設概要	名 称	宮司コミュニティセンター
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	設置条例	福津市コミュニティセンター条例
指定管理者	名 称	宮司地区郷づくり推進協議会
	代表者	会長 坂根 康廣
	所 在 地	福津市宮司浜2丁目15-1
	指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日
所 管	部 課 名	福津市 市民共働部 地域コミュニティ課 郷づくり支援係
	評価期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I-1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	309	307	通常通りの開館(避難所開設を除く)
開館(開場)時間	4017	3,994	9時～22時まで開館
自主事業開催数	43	39	歌声喫茶2、うみがめ管弦打屋、ジャズ&ポップス

I-2. 利用状況

評価項目		事業計画(目標)	事業実績	コメント
延べ利用者数	有料施設	27,000 人	27,227 人	コロナ対策緩和で利用が増えている
	無料施設	7,000 人	10,672 人	芝生利用(一般・幼稚園など)が増えている
	計	34,000 人	37,899 人	
事業参加者数	自主事業	2,000 人	1,606 人	イベント(歌声喫茶・うめがめ室内管弦打屋)を開催
	花植事業	100 人	90 人	花壇・プランターに花植え(春・秋)
	文化祭事業	400 人	300 人	コミセン文化祭を開催
稼働率(平均)	有料施設	20.0 %	18.0 %	多目的ホールの利用が増えている

I-3. 収支状況

評価項目		事業計画(目標)	事業実績	コメント
利用料金収入	有料施設	2,400,000	2,716,730	新しい利用者の申し込みが徐々に増えている
	自動販売機	120,000	188,139	自動販売機販売手数料
	その他	5,045	3,564	
	計	2,525,045	2,908,433	
自主事業収入	自主事業	340,000	128,960	歌声喫茶26回開催、うみがめ管弦打屋10回開催
	花植事業	-	0	
	文化祭事業	-	94,500	
	計	340,000	223,460	
指定管理料		10,868,000	10,868,000	
収入合計		13,733,045	13,999,893	
人件費		5,517,000	5,862,175	給与及び役員手当計上
賃借料		117,000	147,516	リース代(ダスキンマット・サーバー)
維持管理費		6,326,000	6,666,799	水道光熱・修繕・委託費など
総務費		555,000	600,857	電話代・事務用品・消耗品など
事業費		230,000	215,255	春・秋の花壇用花苗、文化祭費用分
租税公課		941,420	947,700	令和4年度法人税+令和5年度消費税
その他		46,625	34,289	法定福利費
支出合計		13,733,045	14,474,591	
収支差引		0	▲ 474,698	

I 業務運営状況の総合コメント

- ・コロナ感染症の発生数減少に伴って令和5年3月13日から、検温・手指消毒とマスクの着用は依頼しつつも最終的には個人の判断に委ねながら施設を利用頂いている。
- ・5月8日からは5類移行となり、施設の利用はコロナ前の状態に戻った(利用制限解除)。
- ・インフルエンザの流行が夏場から始まっており、検温器と手指消毒は継続して設置した。(利用は任意)
- ・今期の収支は、人件費や施設維持管理費が増加し、利益の確保ができず初の赤字となった。
(近年は最低賃金の引上げや諸物価の高騰により、経費負担が大きくなっている)